

# 廣福寺だより

平成28年10月



## 流しそうめんの夏

再開した広大会も二年目となり、子どもたちもスタッフも二年目の人が多くなると、流しそうめんの準備もスムーズに進みました。

でも、すぐに食べるのではなく、お参りをして、スタッフとゲームをして、みんなで流しそうめんの竹にやすりがけをしてからです。

その間に調理スタッフは台所で大量のそうめんを茹で、天ぷらを揚げています。汗だくの姿に感謝。

流しそうめんのスタート直後は、みんなの気合いが入ります。上流でそうめんが消え、下流まで流れ去ります。途中で上流部の人と下流部の人がチェンジです。

うまく食べるには、右利きの人は上流に向かって左側にいるのがこつ。左利きの人は逆です。今年の流しそうめんには、途中から缶詰のサクランボとミカンも登場。バリジョンアップしています。

天ぷらがなくなつた頃スタッフのお腹に、すっかりのびてしまつたそうめんが入ります。でも、スタッフみんな充実感でニコニコです。

◆三世代で大遠忌

前回の大遠忌は親鸞聖人七〇〇回忌。本山佛光寺では、昭和三十六年（一九六一年）に行われました。戦後の復興の時期、前回の東京オリンピックの三年前です。広福寺では他のお寺よりだいぶ遅れ、昭和五十八年に勤修されました。

前住職は、吉田商業高校を定年前に辞め、大遠忌の準備に当たりました。前々月に還淨致しました。現住職は、東京で中学教員になりました。現住職は、ホヤホヤでしたので、事前の手伝いはほとんどできず、当日は大勢の御門徒の委員の皆



# 大遠忌だより

様が準備万端で働く中、雑用係で飛び回るだけでした。当院夫婦の長男寛也が生まれましたので、また三代そろって大遠忌を迎えることができる喜んでおります。

## ◆道路際の杉の伐採

境内の道路際に杉並木がありました。このたび大遠忌を前に伐採させて頂きました。

これまで、大風や大雪の時に太い枝が道路に落下することがありました。また近年の気候の変動で倒木の危険も増し、九月に伐採して頂きました。杉の近くの駐車スペースは砂利敷きでしたが、舗装をして頂く予定です。

## ◆御懇志のお願い

来年六月の大遠忌に向けて、寺では準備を進めております。御門徒の皆様のお力を結集して、すばらしい大遠忌にした

いと念願しております。新潟教区の大勢の御寺院のお力添えもお願いしているところです。今年十一月に本山で得度をされる覚様が、新門様としておいで頂けるのではないかと期待しております。

さて広福寺は平成十二年に本堂庫裏の落慶がなり、大規模な修築等は必要ありませんが、本堂等の調度品の準備や、襖・障子の張り替え、大遠忌運営費用等が必要となります。大遠忌のために、少しづつ勧金から積立を行つてまいりましたが、かなり不足が見込まれております。

前回の広福寺での大遠忌の時と同じよう、一律にお願いするのではなく、任意の御懇志のお願いをさせて頂きます。

皆様の御懇念を作成して、お願いをさせて頂きます。





昭和58年  
大遠忌法要



上：御門主とともに  
にお勤め

右：お練り先頭の  
五色の仏旗

今後 本堂等に  
写真を掲示いたします。  
どうぞご覧ください。



ご本尊の周りを歩きながら勤行



## 写真で振り返る 前回の広福寺大遠忌法要 落慶法要

左：小さな お稚児さん

下：威徳寺様  
『新潟樂所』の演奏



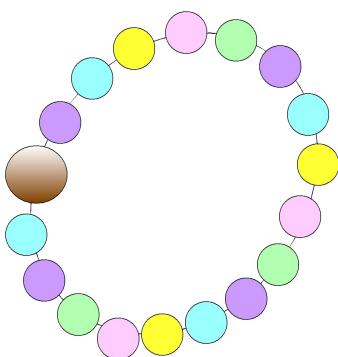
平成13年  
落慶法要



代表稚児さんによる賦華籠

口紅をぬって  
おしゃれかな  
お稚児さんたち

ほうおんこうは宗祖親鸞聖人のご命日の法要です。今年より広大会のお子さんとそのおうちの方や地域の皆さんを対象とした「親子ほうおんこう」をお勧めします。



内容はお話・オリジナル念珠づくり・レクリエーション・おつとめです。  
「お話」は昨年まで報恩講でご法話を頂きました、須頃西照寺の原泰雄師から頂きます。分かりやすく丁寧にお話し下さる方です。

初の企画の「念珠づくり」は広大会でぜひとも実現したかった企画です。毎月の広大会では、寺にある腕輪念珠を選んで付けてもらっています。今はカラフルな色の数珠玉をつなげて、世界にただ一つの念珠をみなさんから作ってもらいます。

今回の親子ほうおんこうの行事に合わせて「初参式しょさんしき」を行います。子どもが初めて仏様にお参りする儀式です。子どもの誕生をご家族の方とともに仏様の前でご報告します。



今回は寺の当院夫婦の長男・寛也の初参式を行わせて頂きます。いっしょに初参式に参加ご希望の方はあらかじめご連絡下さい。お子様に記念品を用意します。

## 親子ほうおんこう 初勤修に向けて

出来上がった念珠をつけて「なむあみだぶつ」と大きな声で唱えてもらいたいと思います。子どもでも簡単に作れます。お誘いあわせの上、この機会にたくさんの方にお参りいただければ幸いです。チラシもご参照下さい。

**初**

**参**

**式**

## お経の練習

ふだんの寺の行事では節のない『舌々正信偈』をみなさんと唱和していますが、聞法会では、節のある『行譜正信偈三首引』を練習しています。十一月の報恩講と来年六月に控えます大遠忌法要でお勤めいたします。

## 『阿弥陀経に学ぶ』

平成十四年より旧月潟村梵行寺の木村俊尚師をご講師に来ていただいています。現在は月参りでお勤めする『阿弥陀経』のお言葉を学んでいます。

木村師は気さくな人柄で、身近なわかりやすいお話や時事問題を例にあげながらお話しいただいております。ぜひお気軽にお参加ください。



## 毎月の聞法会の ご案内

# 当院三二法話

## 親鸞聖人の晩年

親鸞聖人は承安三年（一一七三）に日野有範の子として誕生しました。九歳で青蓮院にて出家得度し、九十歳でご往生されるまで、多くの書物を執筆し、本願念佛の道をひたすらにあゆまれました。

聖人の御消息（手紙）や、妻・恵信尼の手紙によると、聖人は建長七年（一二五五）、八十三歳の暮れに火災にあつたため、京都・五条西洞院の住居を去り、押小路の南、万里小路の東（現在の三条富小路あたり）にある善法坊に移り住みました。善法坊は聖人の弟の尋有が住していたところです。翌々年にごともみなわすれてそうろう（略）。」

とあり、聖人はすでに老衰の身となつていてことを自覚していたようです。それでもなお精力的に執筆を行つていた聖人ですが、八十八歳のときの『正像末和讃』の補訂が最後の著述活動となつたとされています。

弘長二年（一二六一）、十一月二十八日、聖人は九十歳にてご往生されました。臨終は急であつたようであり、越後に帰住していた妻恵心尼は間に合わ

ず、同居していた弟尋有、末娘の覺信尼のほか数名が立ち会う中で息を引き取っています。

『聖人弘長二年壬戌仲冬下旬の候より、いささか不例の氣まします。それよりこのかた口に世事をまじえず、ただ仏恩のふかき事をのぶ。こえに余言をあらわさず、もっぱら称名たゆることなし。しかるにおなじき第八日午時、頭北面西右脇にふしたまいて、ついに念佛のいきたえおわりぬ。』

（聖人は一二六一年十一月下旬の頃よりいささか病気の様子であった。世の中のこととを語らず、ただ仏恩の阿弥陀如來の恩徳の深いことを語られた。他のことばもはさまず、ただお念佛の声が絶えることがなかつた。そして下旬の二十八日の午の刻、頭を北向き、顔を西向き、右脇を下にして横たわり、ついに念佛の息も絶え果てた。）

聖人は愚禿の名のもとに本願念佛のみ教えを広められました。聖人のあゆみは『教行信証』をはじめ多くの書物、ことばとなつて私たちに届けられています。そこには現代の私たちのあゆむべき道が示されているように思ひます。



## お知らせ

### ●本山団体参拝 追加募集！

本山への団体参拝へ申し込みを締め切りましたが、若干の空きがありますので、追加募集をいたします。京都は紅葉真っ盛りです。ぜひ一緒に本山へお参りいたしましょう。

**本山御正忌報恩講と琵琶湖・比叡山の旅  
十一月二十六日(土)～二十八日(月)**

※締め切り **十月末** 広福寺まで

### ●長男 寛也 誕生

七月二十七日に当院夫婦の長男、寛也が誕生しました。広い心で、優しく穏やかな人となるよう想いを込めて名付けました。誕生にあたり、たくさんのお祝いのお言葉を頂戴致しましてありがとうございました。お参りの際にお会いできれば幸いです。皆様からお育てて頂きたいと思つております。今後ともよろしくお願ひ致します。



●長男 寛也 誕生

# ◆行事案内◆

## 報恩講

※今年より5日の親子ほうおんこうと7日のお参りを  
勤めさせていただきます。

### 11月5日(土) 親子ほうおんこう

- 午後5時より お話 須頃 西照寺原 泰雄師  
オリジナル念珠作り(¥200)など おつとめ

終了後 軽食あり



\*寺の子ども寛也の初参式も同時に行います。

仏様に子どもと初めてのお参りをします。ご一緒に初参式ご希望される方はご連絡ください。

### 11月7日(月) 報恩講

- 午前10時 おときづき  
勤行 住職登壇 文類正信偈  
布教 出雲崎 万因寺 高橋 速円 師
- 午後7時より8時半頃まで  
勤行 行譜正信偈・ビデオ上映 お菓子付き



## 女性講

### 11月16日(水) お菓子付き

- 午前10時より  
勤行 舌々正信偈  
布教 月潟 梵行寺 木村 俊尚 師



※11月の聞法会を兼ねます。12月15日(木)は聞法会忘年会です。

## 除夜の鐘

12月31日 午後11時～  
お酒、甘酒、こんにゃくあり

## 大会

12月下旬 もちつき大会  
チラシをお配りします